

## 【あきたこまち2日程度の遅れも初期生育は良好】

### 1. 水稻の生育状況

本年の田植えは5月15日頃より開始され、強風による代枯れ症状等が目立ったものの現在は回復傾向にあります。

「あきたこまち」の生育は現在「分けつ始期」で、葉齢から見た生育状態は、平年比『**2日程度の遅れ**』ではありますが、草丈や茎数は概ね平年並みとなっております。また、田植え期が本年とほぼ同時期であった前年との比較では、草丈、茎数、葉齢とも上回っており、全体的な生育は概ね良好となっております。

水稻定点調査圃の生育状況(6月7日)

品種(平均)	草丈(cm)		茎数(本/m <sup>2</sup> )		葉齢(葉)	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年
<b>あきたこまち</b>	<b>24.7</b>	25.0	<b>98</b>	104	<b>5.6</b>	5.9
(慣行)	24.2		103.3		5.5	
(側条へ-スト等)	25.2		92.6		5.6	
<b>前年比</b>	<b>106%</b>		<b>117%</b>		<b>+0.5 葉</b>	
平年比	99%		94%		-0.4 葉	
<b>たつこもち</b>	<b>28.7</b>	26.9	<b>84</b>	112	<b>5.7</b>	5.9
<b>きぬのはだ</b>	<b>28.4</b>	27.5	<b>175</b>	107	<b>6.1</b>	5.9
<b>ときめきもち</b>	<b>25.4</b>	26.5	<b>118</b>	99	<b>5.6</b>	5.6

### 2. 今後の技術対応

#### 1) 水管理

表層剥離の発生が多く見られる圃場については、水の入替えや浅水管理を実施し、茎数確保に努めてください。

#### 2) 還元障害対策

還元障害(ガス害)による酸素不足で分けつの発生等が少ない圃場では、晴天日に3日~4日程度落水し、その後入水するなど改善に努めてください。

#### 3) その他病害虫防除

現在、イネドロオイムシやイネミズゾウムシによる葉の食害が見受けられます。食害が見られた場合は、つぎの薬剤を散布し防除に努めてください。【トレボン粉剤3kg/10a、トレボン粒剤2~3kg/10a】

#### 4) [いもち病対策]

補植用苗を長く圃場に置くと、いもち病の発生原因となりますので、**速やかに補植を終了し、苗を処理**してください。

また、床土混和や育苗箱処理等の対策を施していない場合は、つぎの薬剤で予防に努めてください。

薬剤名	散布量/10a	使用時期
オリゼメート粒剤	2kg	あきたこまち 6/12~18日頃散布
ブイゲット粒剤		